



校長室より



令和6年 9月 6日

No.15

2学期がスタートしました

夏休みの最後にやってきた台風10号は、めずらしい迷走台風となり、日本各地に被害をもたらしました。和歌山県にも接近しましたが、大雨はありましたが、影響は少なく、無事に9月2日（月）の始業式から2学期のスタートを切ることができました。子供たちも少しずつ休みモードから学校モードに切り替えができてきているように思います。

学校行事として、9月4日（水）から6日（金）にかけて、次年度の小・中学部、高等部の入学を考えている地域の子供たちの体験入学が開催されました。本校の授業を体験して、本校の説明を受けて、どう感じたでしょうか。みはまが自分に合っているのかじっくり考えてもらえればと思います。



高等部3年生のみんなも自分の進路に向けて、現場実習を再スタートさせています。進学組は、夏休み期間も学校に来てエントリーシートの作成など担任の先生と受験対策に取り組んでいました。昨年の校長だよりでも紹介しましたが、人生の岐路となる「登竜門」をむかえているみなさんにエールを送りたいと思います。

9月5日（木）に、第2回目の学校運営協議会が開催されました。みはまの学校運営協議会委員は校長をのぞくと7人の委員さんがおられます。この委員さんは、学校と地域をつなぎ、学校の取組を助けてくれる応援団のような方たちです。いつもアイデアを出してくれ、お助けマンを紹介してくれたり、自ら授業のゲストティーチャーを引き受けてくれたりする方もいます。今年は、キャッチフレーズ「美浜町（ちいき）で育つ みはまの子」を掲げ、子供たちの「美浜町のことを学びたい」や、みはまの生徒会のみんなが声を出してくれた「地域貢献」を応援していただき、子供たちからの発信、子供たちの主体性を大切にした取組を応援していただいています。委員さんたちからは、「みはまの活動には、心を揺さぶる体験が多く取り入れられていますね」と評価をいただいています。2学期も、人のつながりを大切にしながら、子供たちの可能性を広げていけたらと思っています。

